

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和4年1月4日(2022.1.4)

【公表番号】特表2021-510154(P2021-510154A)

【公表日】令和3年4月15日(2021.4.15)

【年通号数】公開・登録公報2021-018

【出願番号】特願2020-537462(P2020-537462)

【国際特許分類】

A 6 1 K 47/36 (2006.01)

A 6 1 K 9/48 (2006.01)

A 6 1 K 47/10 (2006.01)

A 6 1 K 47/26 (2006.01)

A 6 1 K 9/66 (2006.01)

C 0 8 L 3/02 (2006.01)

C 0 8 L 1/08 (2006.01)

C 0 8 K 5/053 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 47/36

A 6 1 K 9/48

A 6 1 K 47/10

A 6 1 K 47/26

A 6 1 K 9/66

C 0 8 L 3/02

C 0 8 L 1/08

C 0 8 K 5/053

【手続補正書】

【提出日】令和3年11月15日(2021.11.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

次の：

約4重量%以下のカリウム含量を有するカラギーナンであり、および次の：

(i) 1.5重量%のカラギーナンを含有する0.1M塩化ナトリウム水溶液の75にて約25から約45cPまでの範囲における粘度、および/または

(ii) 1.5重量%のカラギーナンを含有する水溶液の75にて約35から約60cPまでの範囲における粘度

によって特徴付けられるもの；

スターチ；

可塑剤；および

水；

を含み、カラギーナンには、イオタカラギーナンが含まれる、組成物。

【請求項2】

カラギーナンは、

約0.5から約2重量%までのカリウム；

約3重量%以下のカルシウム；および
約2重量%以下のマグネシウム
を含有する、請求項1の組成物。

【請求項3】

スターチには、ポテトスターチ、アルファ化修飾コーンスターチ、アルファ化酸希釈化修飾コーンスターチ、酸修飾ヒドロキシプロピル化コーンスターチ、フラッシュ乾燥酸修飾自然コーンデントスターチ、ヒドロキシプロピル化酸修飾タピオカスターチ、修飾コーンスターチ、修飾高アミロースコーンスターチ、またはそれらの任意の組合せが含まれ、可塑剤には、グリセリン、ソルビトール、プロピレングリコール、ポリエチレングリコール、またはそれらの任意の組合せが含まれる、請求項1の組成物。

【請求項4】

可塑剤には、グリセリンおよび/またはソルビトールが含まれる、請求項1の組成物。

【請求項5】

組成物は約30から約60重量%までの水を含有する、請求項1の組成物。

【請求項6】

組成物はゼロより大から約1重量%以下までの緩衝剤をさらに含有する、請求項1の組成物。

【請求項7】

スターチ：カラギーナンの重量比は約1.5：1から約5：1までの範囲にある、請求項1の組成物。

【請求項8】

組成物は約4から約9重量%までのカラギーナンを含有する、請求項1の組成物。

【請求項9】

組成物は、約17から約37重量%までの可塑剤を含有する請求項1の組成物。

【請求項10】

組成物は約10から約32重量%までのスターチを含有する、請求項1の組成物。

【請求項11】

組成物には、着色剤、保存剤、崩壊剤、香味料、またはそれらの任意の組合せから選ばれる添加剤がさらに含まれる、請求項1の組成物。

【請求項12】

組成物は融合温度 (T_f) を約25 から約62 までの範囲において有する、請求項1の組成物。

【請求項13】

組成物は圧力フリーのロータリーダイ装置にてカプセルを生産するために構成される、請求項1の組成物。

【請求項14】

請求項1の組成物を含む製造品。

【請求項15】

請求項1の組成物を含むフィルム。

【請求項16】

フィルムは平均厚さを約0.5mmから約3mmまでの範囲において有する、請求項15のフィルム。

【請求項17】

フィルムはドライベースで：

約10から約15重量%までのカラギーナン；

約40から約60重量%までの可塑剤；および

約25から約50重量%までのスターチ

を含有する、請求項15のフィルム。

【請求項18】

次の：

請求項1の組成物が含まれるシェル；および
充填物質
を含む、カプセル。

【請求項19】

シェルは、ドライベースで：
約10から約15重量%までのカラギーナン；
約40から約60重量%までの可塑剤；および
約25から約50重量%までのスターチ
を含有し、
充填物質は、液体または固体である、請求項18のカプセル。

【請求項20】

水をカプセルから除去するための、および/またはカプセルの剛性を高めるための方法
であって、請求項18のカプセルをアルコール化合物と接触させることを含む、方法。

【請求項21】

次の：
約3重量%以下のカリウム含量および約0.7重量%以下のカルシウム含量を有するカラギ
ーナンであり、および次の：
(i) 1.5重量%のカラギーナンを含有する0.1M塩化ナトリウム水溶液の75 にて約10
から約55cPまでの範囲における粘度、および/または
(ii) 1.5重量%のカラギーナンを含有する水溶液の75 にて約30から約80cPまでの
範囲における粘度によって特徴付けられるもの；
スターチ；
可塑剤；および
水
を含み、
カラギーナンには、イオタカラギーナンが含まれる、組成物。

【請求項22】

組成物は、
約4から約9重量%までのカラギーナン；
約17から約37重量%までの可塑剤；および
約10から約32重量%までのスターチ
を含有し、
カラギーナンは、
約2重量%以下のカリウム；
約0.2重量%以下のカルシウム；および
約0.2重量%以下のマグネシウム
を含有する、請求項21の組成物。

【請求項23】

組成物は、
ゼロより大から約1重量%以下までの緩衝剤；および
着色剤、保存剤、崩壊剤、香味料、またはそれらの任意の組合せから選ばれる添加剤
をさらに含む、請求項22の組成物。

【請求項24】

フィルムはドライベースで：
約10から約15重量%までのカラギーナン；
約40から約60重量%までの可塑剤；および
約25から約50重量%までのスターチ
を含有する、請求項21の組成物を含むフィルム。

【請求項25】

請求項21の組成物を含むシェルであり、ドライベースで：

約10から約15重量%までのカラギーナン；
約40から約60重量%までの可塑剤；および
約25から約50重量%までのスターチ
を含有するもの；および
充填物質
を含む、カプセル。

【請求項26】

水をカプセルから除去するための、および/またはカプセルの剛性を高めるための方法
であって、請求項25のカプセルをアルコール化合物と接触させることを含む、方法。